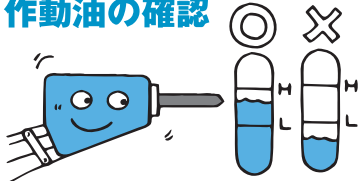


油圧ブレーカ 使用時のご注意

保管時・始業前に下記の事項を必ず行ってください。

作動油の確認



- 始業前に、作動油が入っているか、汚れていないか確認してください。
- 作動油は**600時間**毎、オイルフィルターは**100時間**毎に交換してください。

保管時はチゼルを下向きに



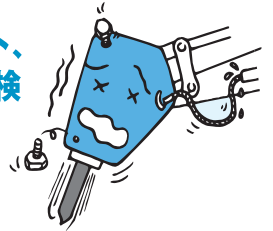
作業終了時は、雨水によるサビからピストン・シールを保護するため、**チゼルを下に向けて保管**してください。

ブレーカ内部の雨水滞留は危険!

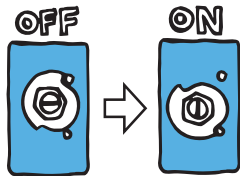
ボルト、ナット、ホースの点検

ボルト、ナット、ホースがしっかり取り付けられていることを確認してください。

※ボルトの締付けは交互対角・均等に行ってください。



ストップバルブの確認



バルブは必ずONに合わせてください。

暖機運転をしてください

ブレーカ使用時の適正油温範囲は50~80℃です。

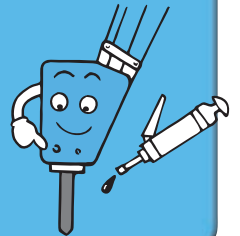
ブレーカを初めて使う時や、毎始業時には、10分程度垂直に、**7割程度**のエンジン回転数で、ならし運転を行ってください。



グリスアップをしてください

- 作業中は**2時間**おきに、**チゼル部**に**5~6回**グリスアップしてください。

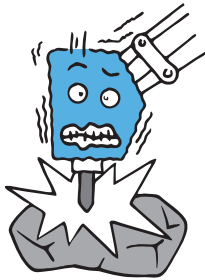
- チゼルはしっかり押し込んでから入れてください。



下記の事項を必ず守って作業してください。

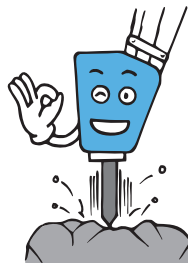
破砕物に急激に当てない

ショベルもブレーカも壊れることがあります。



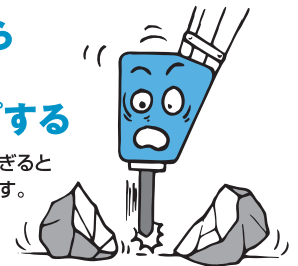
連続して押力を加える

チゼルが抜けると打撃できません。



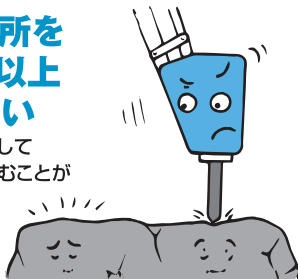
割れたらすぐにストップする

空打ちが多すぎると各部が傷みます。



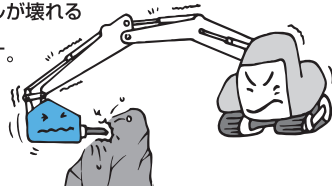
同じ場所を1分間以上打たない

油温が上昇してシールが傷むことがあります。



ストロークエンドにして打たない

ショベルが壊れることがあります。



こじりながら打たない

チゼルが折れることがあります。



フロントキャップを水や泥などにつけない

※水中使用時は改造が必要です。

ショベルもブレーカも壊れることがあります。



物を吊って作業しない

クレーン作業は禁止されています。

